

Together

経営に関する難題解決の事例や手法、働く人々の思いや業界最新情報を共有する月刊紙



株式会社 KBS 創研

2018.1 No.159

知識 [Knowledge] と行動 [Behavior] で問題解決 [Solution] を支援

KBS は「HANDS ON 型」で、観光・サービス業界を支援します。http://www.kbsbiz.com E-Mail : info@kbsbiz.com

新年あけましておめでとうございます。今年も観光業界で培った経験や知恵 (Knowledge) を活かしてクライアント様、パートナー様とともに汗を流し行動し (Behavior) 観光業界に携わる企業・団体の経営に関する諸問題を解決すること (Solution) で社会に貢献する会社を目指してまいります。

何卒ご愛顧、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 小泉壽宏



おかげさまで第 15 期を迎えました！

従来からの経営コンサルティング事業に加え、 旅行流通、宿泊の分野での新たなビジネスモデルづくりに挑戦し 観光業界の発展に貢献してまいります。

本年 4 月 1 日をもって KBS 創研は創業 15 周年を迎えます。これもひとえにクライアント様や KBS の事業を支えてくださっているパートナー様のご支援の賜物と受け止めております。衷心より厚く御礼を申し上げます。

KBS では 15 周年を節目に、この 4 月に旅行流通や宿泊の分野で新たなビジネスモデルを構築する「株式会社 KBS エンタープライズ」を設立します。観光市場の変化を睨みつつ、市場にない新たな商品・サービスを研究し世に送り出すことで観光業界の発展に寄与することを目的としております。

KBS はこの 15 年間、主に観光業界に携わる中小企業様の経営の活性化を支援するべく、企業の多岐にわたる問題を解

決する企業ソリューション事業、現場で必要とされる人財をクライアント様と共に育てる人財ソリューション事業という 2 本柱を展開してまいりました。しかし目まぐるしく変化する市場の変化を吸収・分析するためには自らも事業展開を図る必要があると創業以来感じておりました。KBS エンタープライズは 15 年間温めてきた KBS の思いであります。新会社のロゴマークは実は有限会社小泉ビジネスソリューションズから株式会社 KBS 創研に社名変更した 2007 年には既に用意しておりました。新会社は私たちにとって正に「満を持して」の開業です。

コンサルティングの KBS 創研と観光業界における実業を展開する KBS エンタープライズの両社によるハイブリットなソリューションにどうぞご期待くださいませ。

■ KBS エンタープライズで考えていること①・・・「新たな旅行流通の仕組みを作る」

日本各地で魅力ある観光コンテンツが生み出されながら日の目を見ない、収益が確保できないケースが散見されます。観光ビジネスは、かつては発地 (旅行市場) 志向だったものが着地 (旅行目的地) 志向に変化してきました。しかしこの両者を結びつける機能に問題があると KBS は考えております。

旅行会社はビジネスモデル上、マストツーリズムの概念がビジネスの奥底にありますので、このようなコンテンツは見逃されやすい構造にあります。一方インターネット販売ではコンテンツの評価は体験した人の主観的な感想に依存するため旅行者一人一人のニーズに示唆を与えるものか疑問が残ります。KBS

は顧客に相對することによる信用やそれに基づく個別提案を基本に、現在社会で一般化した情報ツールをいかに活用するかが鍵ではないかと考えております。

対象領域については観光業界として課題となっている「欧米等遠隔地旅行者の誘客」と「旅行に出かけたいが諦めている人の旅行促進」を考えております。前者は京都のランドオペレーターであるビーンズ社と取り組んでいる【Amazing OKINAWA】、後者は NPO 法人ウイズアスと研究を行っている「ユニバーサルツーリズム」の普及です。

■ KBS エンタープライズで考えていること②・・・「サードプレイスとなる心のオアシスのような宿づくり」

我が国は、少子高齢化が進展するとともに晩婚化、未婚化傾向に直面しています。このような時代において、家庭（ファーストプレイス）でもない職場（セカンドプレイス）でもない等身大の自分の居場所となるサードプレイスが重要になるとKBSは考えます。家族、地域、職場とは異なる空間、それが旅先であればどうでしょうか。人々が「その人に戻れる空間」を創造していきたいと思えます。

一方、コンビニエンスストアの弁当や総菜に代表される食品の工業化が進み、宿泊業においても「その土地ならではの料理」「手作りの食事」が減りつつあります。セントラルキッチン

を設けその宿でほとんど調理をしなくても食事が提供できる体制の施設も増え、中小零細の宿泊施設においても食品加工会社が製造したものを提供するところも少なくありません。

KBSでは食育の観点からもその土地ならではの安心できる食材を手作りで提供する宿を生み出してまいりたいと考えます。四季折々の食材や地域性を反映したその土地に息づくものを食していただくことで、自然への感謝、その土地へのリスペクトを生み出すことができる宿のあり方を模索していきたいと考えております。

■ KBS エンタープライズの商品サービス開発姿勢・・・蟻の目と鳥の目。

KBS エンタープライズは大きな市場形成を狙うような商品サービス開発は行いません。

大手企業が参入するような市場ではなく、中小企業の目線として大手が注目しない市場を「蟻の目」のように市場をじっくり観察しつつ、事業の社会的意義を「鳥の目」のように社会、経済を俯瞰しながらビジネスを展開したいと思えます。

KBS 創研も開業以来、「観光業界に携わる中小企業」に注目し、必要とされるソリューションを展開し多くの事業者様から支持を頂戴してまいりました。今後もこのような KBS グループの視点や考えに共感していただくスタッフやパートナーと共に事業を展開してまいる所存です。

TOPIC

有馬ロイヤルホテルが「介護付き宿泊プラン」を発売！

兵庫県有馬温泉の旅館、有馬ロイヤルホテル（岩田一紀社長）は、障がい者や高齢者の旅行サポートを行う神戸ユニバーサルツーリズムセンター（鞍本長利代表）と提携し、この冬より「介護付き宿泊プラン」を発売しました。

「夫婦で旅行に行きたいが、2人だけでは男湯にも女湯にも入れない。入浴の時だけヘルパーが助けてくれたらありがたい」「せっかくの旅なので食事くらいゆっくりしたい。ヘルパーが食事のサポートをしてくれれば」そんな声に応え、有馬ロイヤルホテルでは滞在中2時間の介護ヘルパーのサービスをつけたプランを開発しました。

介護福祉士、ホームヘルパー1級、2級のいずれかの資格を持った人が介護ヘルパーとしてサービスを提供します（介護保険の適用外となります）。

詳しくはじゃらん net の有馬ロイヤルホテルのページをご覧ください。

お宿データ

有馬ロイヤルホテル



〒651-1401
兵庫県神戸市北区有馬町987
電話:078-904-0541
HP:<http://www.arimaroyal-h.com/>

編集 後記

明けましておめでとうございます。15期を迎えたKBSでは今回の紙面にもあるように、「企業ソリューション」「人財ソリューション」という2枚看板事業の一層の強化と、新たな観光ビジネスモデルづくりへの挑戦を通じ、観光業界の発展へ貢献することを掲げています。Togetherでも紙面を通じ、観光業界に携わる皆様のお役に立てるよう出来るだけ分かりやすくお伝えして参ります。本年もTogetherをよろしくお願ひいたします。（増田）

株式会社 KBS 創研

関西本部：〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町3丁目1-5-203 TEL:06-6423-5561/FAX:06-6423-5571

東京本部：〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目23-1-766 TEL:050-3452-2488

沖縄支店：〒900-0012 沖縄県那覇市泊2丁目1-18 T&C泊ビル4階 TEL:098-917-0117/FAX:098-943-1501

<関連会社>ネクストサポート株式会社（事業再生コンサルティング）

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-20 マスビル6階 TEL:06-6282-7226/FAX:06-4707-3855

- 代表取締役：小泉壽宏
- 事業内容：観光・サービス業の経営支援
- 設立：2004年4月
- 地域オフィス：関西・東京・沖縄